

さまざまな人が支え合う お互い様の地域づくり 事例集

大津市

- ・ 瀬田商工会「めんどうみサービス」

■活動内容

商工会と地域の自治連合会および社会福祉協議会が連携し、「地域商業」と「地域福祉」を相互に連動させながらそれぞれの質の向上を目指す取り組みです。

具体的には、地域住民(特に高齢者)をターゲットに、日常生活の困り事に対応する「めんどうみ(御用聞き)サービス」をはじめ、生鮮食品や生花等を自動車や自転車で巡回販売する「移動販売」、地域住民と事業者が顔の見える関係作りを構築する為の地域コミュニティイベント「絆まつり」や、生活に役立つ体験型講座「絆カフェ」、建部大社参道において生鮮や地元特産品等を販売する朝市「唐橋しじみ市with勢多市」を開催しています。

移動販売 (毎週水曜日9:00頃～13:30頃まで管内6か所を巡回)
絆カフェ (毎月1回土曜日に商工会館で開催)



■団体名 瀬田商工会 絆づくりビジネスネットワーク

■参加者 会員33名

■活動拠点
連絡先 大津市大江四丁目18番10号 瀬田商工会事務局内
代表 浦松さん(めんどうみサービス専用ダイヤルを設置)
TEL:077-545-2137 FAX:077-543-1404
mai:info@setacai.com

■活動のきっかけ・実現までの経緯

大型店出店や事業主の高齢化による廃業増加を背景に、顧客目線に立った手厚い『非効率経営』の経営手法を管内の小規模事業者が導入する事で活性化を図るため、平成23年度に商工会長の諮問機関として、商工会役職員をはじめ、まちづくり団体・自治連合会を中心に絆づくり経営委員会を立ち上げて事業を検討したのがはじまりです。

委員会において、大津市東部6学区自治連合会より、地域の問題としてオレオレ詐欺や小売店の減少等で高齢者の買い物弱者支援問題が深刻化していることから、自治連合会の協力でアンケート調査を実施しました。その結果約6割近い高齢者が「買い物」や「修理・修繕」に困っている事がわかり、平成24年7月より絆づくりビジネスネットワークを結成、本プロジェクトに取り組んできました。



利用者さんの声

自宅の電灯スイッチの調子が悪かったのですが、普段量販店等で家電品を購入するので、小さな修理等をどこに頼めば良いか困っていたところ、めんどうみサービスのチラシ等を拝見して商工会に電話。

すぐに地元の専門業者の方がこられて、丁寧に対応をいただき助かりました。大変親切で便利なサービスなので、その後もファンヒータの買換えやテレビアンテナの工事等で相談に乗ってもらっており、満足しています。(79歳男性)

活動者の声

本事業により、自治連合会や社会福祉協議会とも協力体制が構築でき、各団体・組織の課題等の情報共有を図る事が出来る委員会の役割は、地域内資金循環を目指す商工会において、非常に大きい。

また、めんどうみサービスの出張対応からリフォーム依頼に繋がったり、移動販売の取組により、大手企業との取引に繋がる等地元商工業者と地域住民の橋渡しができた。また「唐橋しじみ市with勢多市」では、地域の賑わい創出や、観光雑誌の掲載等、観光客の誘致や地域ブランドである瀬田しじみのPRにも貢献出来た。

■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

これまで継続してきた要因としては、地元自治連合会代表や学識経験者を委員とし、地元自治体をオブザーバーとする「絆づくり経営推進委員会」を設け、本ビジネスネットワークの活動の公益性を担保してきたことが大きいと思われます。利用者にも自治会や社協と連携した事業であるという安心感が生じ、利用者の増加につながっています。

ニーズが高く利用者も安定傾向ですが、福祉的な側面もあることから、現在のメンバーだけの対応には限界があり、対応力・サービスの質の低下に繋がる恐れがあります。また、補助金がなくなった後も自主的に運営可能な基盤作りが急務です。